

議長職における引継ぎ事項について

1. 議会広報・広聴については、様々な事業に取り組んでおり一定の成果は上がっているものの今回実施した市民アンケートの結果では、議会活動の認知度が低迷している。広報・広聴活動の評価についてどのように進めるか検討し、今後の活動指針について取りまとめること。
2. 常任委員会の活動について、議案等の審議結果はもとより、所管事務調査の報告や日頃の委員会活動の見える化を推進するため、常任委員会報告の実施方法について、本会議にて報告を行うよう検討を進める。
3. 来期は4年任期の最終年となるため、議会基本条例や各種規則の検証や見直し、次期議会への引継ぎ事項等の取りまとめを確実に実施すること。
4. 議員報酬について、報酬審議会を開催を要請したところ時期を先送りしたい旨の返答であった。令和9年度以降での開催要求を働きかけること。
5. 名鉄広見線新可児―御嵩間は事業者の（株）名古屋鉄道より「廃線」の意思が示された。今後は議会としても、その代替え機能などの調査・研究を進め、市民に分かりやすい説明を行うこと。また新可児―犬山間の利用促進策や活性化策について積極的に調査・研究を進めること。
6. 今後、可茂地区内市町村の人口減少がさらに進むことが予想される。また、一部事務組合への負担金について、今後可児市の負担が増加することも懸念される。施設の老朽化や人員不足への対応など様々な課題がある各組合議会の活性化について、可茂地域市町村議会議長会を通して活発な意見交換をすること。

令和8年6月25日

可児市議会議長 川上 文浩